

清和の暮らしとシゴトづくり実践事業

# 実感の循環学校

むら暮らしに関わり合いながら、  
一緒に地域活動や仕事を創っていきませんか？

千葉県君津市  
清和地区って？

都心から約1時間  
“なつかしい”むら

房総半島の中央部。豊かな自然、ひと、文化。「いなか」「ふるさと」というフレーズがずっと馴染むエリアです。



## 「実感の循環学校」とは

清和にある使われていない資源や、地域の人、訪れる人。これらにふれ、みなさんの実感を循環させながら「こんなことができる！」を清和の暮らし、活動シゴトへとさらに循環させていくための実感学校です。



## PROGRAM

- Session 01 **7/25(火)** 説明会とオープニング  
ローカルな暮らしとシゴトを知る
- Session 02 **8/26(土)** オリエンテーション  
参加者の自己紹介とプランニング
- Session 03 **9/30(土)** 実践授業とフィールドワーク  
- 空き家活用から学ぶ -
- Session 04 **10/21(土)** 実践授業とフィールドワーク  
- 獣害、林業から学ぶ -
- Session 05 **11/26(日)** 発表に向けた準備
- Session 06 **12/23(土)** 実感と循環の発表



参加費 **無料**

交流会・交通費・宿泊費等は参加者負担

定員 **10名**

参加にあたり事前に個別説明(ヒアリング)をさせていただきます。

お問い合わせはこちらから



<https://seiwa-town.com/kurashitoshigoto/>

# GUEST

## Session01

### 指出 一正 氏 / ソトコト編集長



島根県「しまコトアカデミー」メイン講師、山形県小国町「白い森サスティナブルデザインスクール」メイン講師、高知県高知市「エディット KAGAMIGAWA」「高知・鏡川 RYOMA 流域学校」メイン講師、奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県、吉野町、天川村、曾爾村「MIND TRAIL 奥大和心のなかの美術館」エリア横断キュレーター、群馬県庁 31 階「ソーシャルマルシェ & キッチン『GINGHAM (ギンガム)』」プロデューサーをはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房、総務省、国土交通省、農林水産省、環境省などの国の委員も務める。経済産業省「2025 年大阪・関西万博日本館」クリエイター。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。

## Session03

### 高橋 洋介 氏 / 開宅舎代表



千葉県市原市出身。2013 年、武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業しフリーランスデザイナーに。2017 年市原市養老溪谷へ U ターン。耕すデザイナーとして市原市内のデザインプロジェクトに関わる。市原市地域おこし協力隊。石神菜の花畑ハルイチバンプロジェクト。2019 年に小湊鉄道上総牛久駅にコーヒースタンド「牛久にカフェを作りたいんだ」をオープン。2021 年合同会社開宅舎を設立。南市原への移住促進、空き家の活用。

## Session04

### 松原 圭司 氏 / 狩猟・獣肉処理業、株式会社 KLC 営業・広報・マーケティング



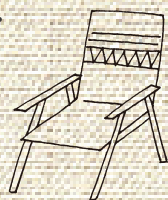
1990 年福岡県生まれ。大学卒業後、京丹波にてジビエ猟師へ弟子入り。弟子入り卒業後、独立型地域おこし協力隊一期生として、岡山県西粟倉村にて自身の獣肉処理場を立ち上げのちに事業譲渡。その他、薪料理レストラン勤務や無人島 100 日間生活などを経て 30 歳から東京へ、近年はマーケティングや事業開発に携わる。また、千葉県君津市にて狩猟、伐採、開拓体験の提供を準備中。

## COORDINATOR

### 地域協働コーディネーター

#### おきなまさひと 氏

まちびと会社 visionAreal 共同代表



地域に関わりながら、じぶんサイズの暮らしを選ぶ人々を「まちびと」と呼び、地域に必要なプロジェクトをつくる。広場、コミュニティスペースやカフェ、シェアオフィスやキャンプ場などの施設運営などを通じて行政や企業、地域のコーディネーターとして各地に関わる。

### 地域コミュニティが 全面的にバックアップ

今回のご参加を通して「暮らし」「活動」「シゴト」などを具体化される際には、地域との関係性づくりなどのサポートも可能です。また、清和地区では、旧小学校を複合整備した施設にレンタルオフィス・コワーキングスペースなども設置されます（令和 6 年 1 月オープン予定）。あなたが実感した「循環」を、良好なアクセスと豊かな資源に恵まれた「清和」で実現しませんか？